

遠藤 桑珠

大地に立つ
空を仰ぐ

Soju Endo

生誕一〇〇年企画展

6月24日(土)～7月23日(日)

休館日：6/28(水)

開館時間：9:00～17:00(入館は16:30まで)

入館料：一般200(160)円、高大生100(80)円、小中生50(40)円

※()内は20名以上の団体料金 ※常設展セットは別途

雲と地平 昭和57年(1982) (改組)第14回日展





木通の頃 1946(昭和21) 再興第31回院展



谷地小路風景 1950(昭和25) 第6回日展特選

日本画家 遠藤桑珠 (1917～2011 米沢市上郷出身) は昭和12年(1937)、20歳で中村岳陵がくりやうに師事し、初期には院展に出品し頭角を現します。その後日展に移り、60年間日展を舞台に作品を発表しました。

桑珠の画風は、穏やかな色調と明快な構図にその特徴があります。生涯、風景画を主な仕事とし、自然の造形と、人が作りだした景物を独自の観察力と造形感覚で組み合わせた作品は、繊細さとダイナミズムが調和した世界を織りなしています。1960年代以降は、ヨーロッパやメキシコ等異国の風土も描き、作品に新たな色彩との出会いがもたらされます。また、晩年に取り組んだ「空と雲」では、刻一刻と変化する空の表情をとらえ、生涯瑞々しい感性で作品を発表し続けました。

本展覧会では、院展時代の初期作品から、日展での60年の歩み、そして日本の風土と異国の風土からなる豊かな色彩世界の全貌をご覧いただきます。

Soju Endo 遠藤桑珠



草原の虹 1981(昭和56) (改組) 第13回日展



菜の花と海 1992(平成4) (改組) 第24回日展



雲と草原 2005(平成17) (改組) 第37回日展

関連事業

■ギャラリートーク

当館学芸員の展示解説

6月24日(土)、7月16日(日)
各14:00～ ※要展覧会チケット

■募集制ワークショップ

「ナイトツアー 遠藤桑珠展
～作品と作者の魅力に触れる～」

*夜の展示室で作品をじっくり鑑賞。

6月30日(金) 19:00～20:30
どなたでも(中学生以下は保護者同伴)
定員20名 参加費500円
募集開始5月30日(火)

「色とあそぼう！
～そらのいろ・くものいろ～」

*大きな画面に空や雲を表現します。

7月8日(土) 10:00～11:30
対象 未就学児
定員20名 参加費500円
募集開始6月6日(火)

■自由参加制ワークショップ

「むかしむかしをきこう」

7月1日(土) 14:00～15:00
体験学習室
米沢とんと昔の会による
楽しい昔語り
※申し込み不要
参加無料

常設展示室 ■上杉文華館 テーマ「謙信を生んだ一族・長尾氏」 コレクショントーク(展示解説)
6月29日(木)～7月25日(火) 「為景、越中へ」 7/9(日) 14:00～

次回予告 「ドールズハウスへの招待Ⅱ～見て学ぶ 世界のドールズハウス」 7月29日(土)～
大草原の小さな家 ローラ生誕150年記念 9月18日(月祝)

置賜文化ホールからのお知らせ

チケット発売中 0238-26-2666

春風亭昇太・林家たい平二人会

7月23日(日)13:30開場/14:00開演

全席指定 3,500円

※それぞれ未就学児入場不可(託児あり)

AKASAKA木管五重奏団

8月19日(土)13:00開場/13:30開演
出演 赤坂達三(クラリネット)丸田悠太(フルート)
池田祐子(オーボエ)藤田 旬(ファゴット)
小川正毅(ホルン)

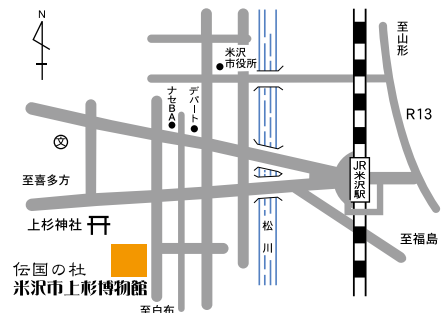
全席指定 一般 2,500円 学生 1,000円

【伝国の杜ファンクラブ会員・サポーターメンバー募集中】

- ファンクラブ・・・もっと楽しみたい方に！特典いろいろ。
- サポーター・・・人とつながる自分をいかせるボランティア。

〒992-0052 山形県米沢市丸の内1-2-1
TEL 0238-26-8001 FAX 0238-26-2660
<http://www.denkoku-no-mori.yonezawa.yamagata.jp>

Facebook 伝国の杜



- JR米沢駅から2km、上杉神社隣接
- 市内循環バス「上杉神社前」下車
- 市内循環バス南回り路線「九里学園」下車
- 山形蔵王IC、福島飯坂ICよりR13で約50分

米沢市上杉博物館

生誕100年 遠藤桑珠

出品リスト

会期 2017年6月24日(土)～7月23日(日) 休館日6月28日(水)
米沢市上杉博物館 企画展示室

※展示室内の温湿度・照度は作品の保存に適した環境に設定されています。ご理解とご協力をお願いいたします。

※作品にはお手を触れずにご覧ください。また、撮影はご遠慮ください。

※会期中、一部入れ替えをする作品があります。 展示期間 ●6/24～7/11 □7/12～7/23 印のないものは全期間展示

※出品番号1～58は米沢市上杉博物館蔵、59～66は個人蔵です。

※出品番号と図録の図版番号は一致しません。

出品 番号	展示 期間	作品名	制作年	サイズ	形状	技法材質	初出展歴
第1章 中村岳陵入門 ～院展時代							
1		木通の頃	1946(昭和21)	168.5×91.2	額	紙本着色	再興第31回院展
2		桧	1948(昭和23)	210.0×136.0	額	紙本着色	再興第33回院展
第2章 日展作家への道							
3		山峡	1949(昭和24)	138.8×212.0	屏風 (二曲一隻)	紙本着色	第5回日展
4		谷地小路風景	1950(昭和25)	144.0×220.0	額	紙本着色	第6回日展 特選
5		御見野風景	1953(昭和28)	145.1×205.1	額	紙本着色	第9回日展 特選
6		冬木立	1955(昭和30)	136.9×200.0	額	紙本着色	第11回日展
7		海(千葉)	1960(昭和35)	128.0×215.0	額	紙本着色	第3回新日展
8		ぶどうの丘	1962(昭和37)	131.0×212.8	額	紙本着色	第5回新日展
9		外海府	1964(昭和39)	140.0×212.0	額	紙本着色	第7回新日展
10		塔	1965(昭和40)	212.4×151.8	額	紙本着色	第8回新日展
11		春暁	1966(昭和41)	177.5×139.6	額	紙本着色	第9回新日展
12		樹(ふくろうのいる森)	1972(昭和47)	221.7×161.0	額	紙本着色	第4回改組日展
13	●	山の池(青森十二湖)	1973(昭和48)	162.0×221.0	額	紙本着色	第5回改組日展
14	□	白い陽	1976(昭和51)	213.8×159.2	額	紙本着色	第8回改組日展
第3章 異国との出会い							
15		コルドバの街	1968(昭和43)	217.2×150.2	額	紙本着色	第11回改組日展
16	●	アッシジの丘	1968(昭和43)	80.3×130.5	額	紙本着色	ヨーロッパ展(資生堂ギャラリー)
17	□	草原驟雨	1968(昭和43)	89.0×128.5	額	紙本着色	ヨーロッパ展(資生堂ギャラリー)
18	●	チロル風景	1968(昭和43)	130.0×90.7	額	紙本着色	ヨーロッパ展(資生堂ギャラリー)
19	□	ティスナレン湖(スウェーデン)	1968(昭和43)	90.7×151.3	額	紙本着色	ヨーロッパ展(資生堂ギャラリー)
20		神の像	1975(昭和50)	221.0×161.4	額	紙本着色	第7回改組日展
21	□	メヒコの女	1977(昭和52)	214.2×148.0	額	紙本着色	第9回改組日展
22		パレンケの丘	1978(昭和53)	159.8×212.2	額	紙本着色	第10回改組日展
23	●	メリダの日	1979(昭和54)	213.6×159.6	額	紙本着色	第11回改組日展
24		遺跡の火	1980(昭和55)	156.0×213.0	額	紙本着色	第12回改組日展
25		草原の虹	1981(昭和56)	214.2×160.2	額	紙本着色	第13回改組日展
26		雲と地平	1982(昭和57)	159.8×212.0	額	紙本着色	第14回改組日展
第4章 雪国と故郷							
27		里郷の山(斜平山)	1987(昭和62)	175.5×348.0	屏風 (六曲一隻)	紙本着色	雪の国展(日本橋高島屋)

出品 番号	展示 期間	作品名	制作年	サイズ	形状	技法材質	初出展歴
28	□	こし路待春(雪の野、蒲原)	1987(昭和62)	175.5×348.0	屏風 (六曲一隻)	紙本着色	雪の国展(日本橋高島屋)
29	●	冬津軽(五能線)	1987(昭和62)	176.0×356.0	屏風 (四曲一隻)	紙本着色	雪の国展(日本橋高島屋)
30		最上川雨後	1971(昭和46)	72.5×116.5	額	紙本着色	山と河展(日本橋三越)
31	●	雪ン子	1987(昭和62)	166.0×166.0	屏風 (二曲一隻)	紙本着色	雪の国展(日本橋高島屋)
32	□	飛驒晨雪	1987(昭和62)	166.0×166.0	屏風 (二曲一隻)	紙本着色	雪の国展(日本橋高島屋)
33	●	月翔	1985(昭和60)	208.0×156.0	額	紙本着色	第17回改組日展
34	□	雪あかり	1988(昭和63)	209.6×155.7	額	紙本着色	第20回改組日展
35		一切経山	未詳	33.2×45.2	額	紙本着色	
36		蔵王沼	未詳	43.0×55.0	額	紙本着色	
37		冬の林	未詳	55.2×66.0	額	紙本着色	
38	●	うさぎ(葉書)	未詳	11.2×15.5	額	紙本着色	
39	●	松(葉書)	未詳	14.6×9.8	額	紙本着色	
40	●	しめじ(葉書)	未詳	14.7×9.9	額	紙本着色	
41	●	柚子(葉書)	未詳	14.6×10.0	額	紙本着色	
42	□	枇杷(葉書)	未詳	9.9×14.7	額	紙本着色	
43	□	南天(短冊)	未詳	36.2×7.6	額	紙本着色	
44	□	山女魚	未詳	16.0×23.0	額	紙本着色	
45	●	春堤(舟)	1987(昭和62)	100.0×72.8	額	紙本着色	雪の国展(日本橋高島屋)
46	□	朝の雪	1987(昭和62)	74.5×101.5	額	紙本着色	雪の国展(日本橋高島屋)
47		蔵王火口	1993(平成5)	220.0×170.0	額	紙本着色	第25回改組日展
48		菜の花と海	1992(平成4)	170.7×220.7	額	紙本着色	第24回改組日展
49		湿原(釧路)	1996(平成8)	220.8×171.0	額	紙本着色	第28回改組日展

第5章 空と雲

50		穹	1998(平成10)	220.0×171.0	額	紙本着色	第30回改組日展
51		立ち雲	1999(平成11)	220.0×170.5	額	紙本着色	第31回改組日展
52		彩雲	2000(平成12)	221.0×171.0	額	紙本着色	第32回改組日展
53		雲と砂丘	2001(平成13)	220.0×171.0	額	紙本着色	第33回改組日展
54		山湖景雲	2003(平成15)	220.0×171.0	額	紙本着色	第35回改組日展
55		雲と草原	2005(平成17)	220.0×170.0	額	紙本着色	第37回改組日展
56		蒼い雲	2006(平成18)	171.0×221.0	額	紙本着色	第38回改組日展
57		スペイン闘牛	未詳	30.7×40.9	スケッチ	紙本着色	
58		米沢市民文化会館緞帳原画	1969(昭和44)	33.3×77.8		紙本着色	
59		八郎潟	1991(平成3)	19.7×28.6	スケッチ	紙本着色	
60		最上川白糸の滝	未詳	23.2×15.1	スケッチ	紙本着色	
61		菜の花と月山	未詳	15.5×22.0	スケッチ	紙本着色	
62		二本松附近	未詳	15.5×22.0	スケッチ	紙本着色	
63		坂出 松浦工業ヨコ	1992(平成4)	15.5×22.0	スケッチ	紙本着色	
64		ふるさとの山 実家の裏	未詳	15.5×22.0	スケッチ	紙本着色	
65		吾妻小富士	未詳	15.5×22.0	スケッチ	紙本着色	
66		石狩浜夕照	1991(平成3)	25.4×33.2	スケッチ	紙本着色	

遠藤桑珠 年譜

※本年譜は平成14年度米沢市上杉博物館企画展「風土の画家 遠藤桑珠」で制作したものに加筆修正したものである。
 ※日展の出品作品名、審査員歴等については『日展史』を参照した。
 ※日春展の出品作については作品名の判明したもののみ記載した。

大正6年(1917)			山形県東置賜郡上郷村(現在米沢市)に生まれる。 父 良次 25歳、母 よう 23歳の長男。本名 伊左衛門。
昭和5年(1930)	13歳	3月	上郷尋常高等小学校卒業。
昭和6年(1931)	14歳		家業の農に従事し、傍ら暇を見て新聞の切抜きなどを模写する。
昭和12年(1937)	20歳	2月	小学校の師、黒田栄四郎の薦めで、同郷の画家 我妻碧宇(名古屋在住)を訪ねる。
		9月	中村岳陵に入門。
昭和15年(1940)	23歳	8月	補充兵として満州牡丹江省寧安の航空通信部隊に入隊。
昭和18年(1943)	26歳		秋、召集解除帰還、東京板橋の沢藤電機KKに就職。
昭和20年(1945)	28歳		終戦と共に通勤用にしていた自転車に乗って郷里に帰り農業に従う。
昭和21年(1946)	29歳	4月	増田ナナ子と結婚。
		6月	第1回山形県総合美術展覧会で「暁頃」が山形市長奨励賞。
		9月	再興第31回日本美術院展覧会(以下院展)に「木通の頃」が初入選。
昭和22年(1947)	30歳		米沢に疎開中の彫刻家 桜井祐一と知り合う。
		3月	第2回日本美術院小品展に「あけび」を出品。
		9月	第32回院展に「立樹」が入選。
昭和23年(1948)	31歳	9月	第33回院展に「桧」が入選し、院友となる。
		10月	第4回日展に「残雪」(個人蔵)が初入選。 「桜井祐一・石沢煌峰・遠藤桑珠3人展」を開催(米沢市立町 藤屋二階)。
昭和24年(1949)	32歳	7月	米沢美術家連盟の結成に桜井祐一、福王寺法林らと参加する。
		10月	第5回日展に「山峡」が入選。
		11月	第5回山形県総合美術展覧会で「山間」が県知事賞。
昭和25年(1950)	33歳		東京板橋にアトリエを求め、米沢から移る。
		10月	第6回日展で「谷地小路風景」が特選となる。
昭和26年(1951)	34歳	10月	第7回日展に「緑庭」を出品。(無鑑査)
昭和27年(1952)	35歳	10月	第8回日展に「芦沢新秋」が入選。
昭和28年(1953)	36歳		竜土会結成(関東10名、関西10名)。
		10月	第9回日展で「御見野風景」が特選、白寿賞、朝倉賞を受賞する。
昭和29年(1954)	37歳	10月	第10回日展に「岬」を出品。(この年より出品委嘱)
昭和30年(1955)	38歳	10月	第11回日展に「冬木立」を出品。
昭和31年(1956)	39歳	10月	第12回日展に「最上川残雪」を出品。
昭和32年(1957)	40歳	10月	第13回日展に「北越の浜」を出品。
昭和33年(1958)	41歳		「遠藤桑珠個人展」(日本橋高島屋)開催。
		8月	山形県総合美術展覧会で「蔵王高原」が県美連賞受賞。
		11月	第1回新日展に「阪照」を出品。 ※この年から社団法人日展へ
昭和34年(1959)	42歳	11月	第2回新日展に「採果」を出品。
昭和35年(1960)	43歳	11月	第3回新日展に「海(千葉)」を出品。

- 昭和 36 年 (1961) 44 歳 11 月 第 4 回新日展に「風 (霞ヶ浦)」(中部電力 KK 蔵) を出品。
- 昭和 37 年 (1962) 45 歳 11 月 第 5 回新日展に「丘 (ぶどうの丘)」を出品。
- 昭和 38 年 (1963) 46 歳 11 月 第 6 回新日展に「白根火口」(名古屋 CBC 放送蔵) を出品。
- 昭和 39 年 (1964) 47 歳 2 月 「火口とその周辺」個展 (資生堂ギャラリー) 開催。「白根火口 1」「丘」など 10 点出品。
- 11 月 第 7 回新日展に「外海府 (佐渡)」を出品。
- 昭和 40 年 (1965) 48 歳 11 月 第 8 回新日展に「塔 (函館)」を出品。
- 昭和 41 年 (1966) 49 歳 3 月 「北海道風景」個展 (資生堂ギャラリー) 開催。「ハリストス」「石狩川」「支笏湖」など 12 点出品。
- 11 月 第 9 回新日展に「春暁 (北海道斜里岳)」を出品。
- 昭和 42 年 (1967) 50 歳 台湾取材旅行 (台北、台南、高雄、ガランビ岬まで)。
- 7 月 ヨーロッパ 100 日旅行へ出発 (北欧からペルシャまで)。
山形新聞の特派員として西村忠 (工芸家) と同行し、旅の途中山形新聞に見聞録とスケッチの「ヨーロッパ二人旅」を不定期連載。
- 11 月 帰国。
- 11 月 第 10 回新日展に「阿美の娘」(山形美術館蔵) を出品。
- 昭和 43 年 (1968) 51 歳 3 月 「ヨーロッパ展」(資生堂ギャラリー) 開催。「トールク風景」「ティスナレン湖」など 12 点出品。
- 11 月 第 11 回新日展に「コルドバの街」を出品。
- 昭和 44 年 (1969) 52 歳 米沢市民文化会館緞帳の原画を制作。
- 11 月 第 1 回改組日展に「吾妻 一切経山」を出品。
- 昭和 45 年 (1970) 53 歳 11 月 第 2 回改組日展に「アッシジの丘」(名古屋 CBC 放送蔵) を出品。
- 昭和 46 年 (1971) 54 歳 9 月 「山と河」個展 (日本橋三越) 開催。
- 11 月 第 3 回改組日展に「湿原」(山形新聞社蔵) を出品。
- 昭和 47 年 (1972) 55 歳 11 月 第 4 回改組日展に「樹 (ふくろうのいる森)」を出品。
このころ、山形県飯豊町の白川ダムに水没する古民家を横浜市戸塚区に移築し、自宅兼アトリエとする。
- 昭和 48 年 (1973) 56 歳 11 月 第 5 回改組日展に「山の池 (青森十二湖)」を出品。
- 昭和 49 年 (1974) 57 歳 11 月 第 6 回改組日展に「樹」を出品。
初めてメキシコ、グワテマラへ取材旅行に行く。以降 10 回ほど訪れる。
- 昭和 50 年 (1975) 58 歳 11 月 第 7 回改組日展に「メキシコの遺跡 (神の像)」を出品。
- 昭和 51 年 (1976) 59 歳 日展審査員を務める。
- 10 月 第 8 回改組日展に「白い陽」を出品。
- 11 月 「遠藤桑珠画業展」(山形美術館) を開催。
- 昭和 52 年 (1977) 60 歳 日展会員となる。
- 10 月 第 9 回改組日展に「メヒコの女」を出品。
- 昭和 53 年 (1978) 61 歳 個展 (名古屋オリエント) 開催。
- 11 月 第 10 回改組日展に「パレンケの丘」を出品。
- 昭和 54 年 (1979) 62 歳 11 月 第 11 回改組日展に「メリダの日」を出品。
- 昭和 55 年 (1980) 63 歳 3 月 個展「メキシコ風物展」(日本橋高島屋) 開催。
- 11 月 第 12 回改組日展に「遺跡の火」を出品。

昭和 56 年 (1981)	64 歳	「東京、北京交友展」(北京主催)に出品。 個展(大阪大丸ギャラリー)開催。
		10月 第13回改組日展に「草原の虹」を出品。
昭和 57 年 (1982)	65 歳	「遠藤桑珠、遠藤賢 いとこ 2 人展」(山形松坂屋)開催。
		11月 第14回改組日展に「雲と地平」を出品。
昭和 58 年 (1983)	66 歳	米沢市児童会館陶板壁画「斜平山早春」の原画を制作。 日展審査員を務める。
		11月 第15回改組日展に「白き日」を出品。
昭和 59 年 (1984)	67 歳	山形大学教育学部日本画講師を務める。
		11月 第16回改組日展に「北帰行(白鳥帰る)」を出品。
昭和 60 年 (1985)	68 歳	個展(山形大沼ギャラリー)開催。
		11月 第17回改組日展に「月翔」を出品。
昭和 61 年 (1986)	69 歳	11月 第18回改組日展に「海峡(流木)」を出品。
昭和 62 年 (1987)	70 歳	3月 個展「雪の国」(日本橋高島屋)開催。
		5月 個展「雪の国」(山形美術館)開催。 日展審査員を務める。
		11月 第19回改組日展に「望郷」を出品。
昭和 63 年 (1988)	71 歳	横浜市戸塚区の冨塚山親縁寺の鐘楼堂に竜の天井画を描く。 「日本メキシコ修交 100 周年記念展」(シケエロス文化館)に出品。 日展評議員、日春展運営委員を務める。
		11月 第20回改組日展に「雪あかり」を出品。
平成元年 (1989)	72 歳	11月 第21回改組日展に「冬刈田」を出品。
平成 2 年 (1990)	73 歳	5月 個展「遠藤桑珠小品展 良寛のふるさとから奥の細道象潟まで」(本間美術館) 開催。 日展審査員を務める。
		11月 第22回改組日展に「小樽風景」を出品。
平成 3 年 (1991)	74 歳	11月 第23回改組日展に「浅春」を出品。
平成 4 年 (1992)	75 歳	作品展(西武系列 函館、釧路、旭川、札幌)開催。
		11月 第24回改組日展に「菜の花と海」を出品。
平成 5 年 (1993)	76 歳	上杉景勝・直江兼続レリーフ像の原画を制作(新潟県南魚沼市役所前設置)
		11月 第25回改組日展に「蔵王火口」を出品。
平成 6 年 (1994)	77 歳	11月 第26回改組日展に「山嶺」を出品。
平成 7 年 (1995)	78 歳	11月 第27回改組日展に「さいはて」を出品。
平成 8 年 (1996)	79 歳	5月 個展「ふるさと訪問展」(大沼デパート米沢店)開催。
		11月 第28回改組日展に「湿原(釧路)」を出品。
平成 9 年 (1997)	80 歳	この年より日展参与を務める。
		11月 第29回改組日展に「刈田(能登千枚田)」を出品。
平成 10 年 (1998)	81 歳	米沢市上杉博物館に日展出品作品を中心に、60 数点を寄贈する。
		11月 第30回改組日展に「穹」を出品。

平成 11 年 (1999)	82 歳	11 月	第 31 回改組日展に「立ち雲」を出品。
平成 12 年 (2000)	83 歳		第 35 回日春展に「あかね雲」を出品。
		11 月	第 32 回改組日展に「彩雲」を出品。
平成 13 年 (2001)	84 歳		第 36 回日春展に「黄日」を出品。
		11 月	第 33 回改組日展に「雲と砂丘」を出品。
平成 14 年 (2002)	85 歳	6 月	「風土の画家 遠藤桑珠」(米沢市上杉博物館)開催。
			第 37 回日春展に「白い日」を出品。
		11 月	第 34 回改組日展に「蔵王雲湧く」を出品。
平成 15 年 (2003)	86 歳	11 月	第 35 回改組日展に「山湖景雲」を出品。
平成 16 年 (2004)	87 歳	11 月	第 36 回改組日展に「空」(山形美術館蔵)を出品。
平成 17 年 (2005)	88 歳		米沢市功績者として顕彰される。
		11 月	第 37 回改組日展に「雲と草原」を出品。
平成 18 年 (2006)	89 歳	9 月	「遠藤桑珠展 空と雲」(羽黒洞画廊)開催。
		11 月	第 38 回改組日展に「蒼い雲」を出品。
平成 20 年 (2008)	90 歳		「ふるさと訪問小品展」(山形県郷土館・文翔館)開催。
平成 23 年 (2011)	94 歳		12 月 26 日逝去。
			亡くなる 25 日前、食卓に出されたハタハタを内服薬の説明書きの裏にスケッチする。これが絶作となった。遺言により棺には「未完」と書かれた土筆と蝸牛の小さな絵と筆二本が納められた。

平成 24 年 (2012) 3 月 「追悼特別展示 米沢が生んだ日本画の巨星 遠藤桑珠 福王寺法林」(米沢市上杉博物館)開催。

外務省買上 在外公館に作品を掲額

○アフガニスタン大使館

○ルーマニア大使館

○メキシコ大使館

○バルセロナ総領事館など



画家になる

中村岳陵入門～院展時代

1

どうしても画家になりたかった桑珠は、同郷の画家 我妻碧宇の導きで、中村岳陵に師事。昭和21年、再興第31回院展に初入選を果たした後、連続入選し院友に推挙され、画家としてスタートします。



あけび
木通の頃

1946 (昭和 21) 168.5×91.2 紙本着色
再興第 31 回院展



ひのき
松

1948 (昭和 23) 210.0×136.0 紙本着色
再興第 33 回院展
取材地：宮城県仙台市



日展作家への道

2

昭和25年、師岳陵が日本美術院を去り、桑珠も発表の場を日展に移します。このころから、モダンで感覚的な独自の風景画を作り上げ、日展出品委嘱となります。



さんきょう

山峡

紙本着色
昭和 24 年 (1949)
138.8×212.0 二曲一隻
第 5 回日展
取材地：山形県米沢市



樹 (ふくろうのいる森)

1972 (昭和 47)
221.7×161.0
紙本着色
第 4 回改組日展



やちこうじふうけい
谷地小路風景

紙本着色 昭和 25 年 (1950) 144.0×220.0
第 6 回日展 特選 取材地：山形県米沢市



異国との出会い

3



遺跡の火

1980 (昭和 55) 156.0×213.0 紙本着色
第 12 回改組日展
取材地：メキシコ



アッシジの丘

1968 (昭和 43) 80.3×130.5 紙本着色
ヨーロッパ展 (資生堂ギャラリー)
取材地：イタリア



チロル風景

1968 (昭和 43)
130.0×90.7
紙本着色
ヨーロッパ展 (資生堂ギャラリー)
取材地：オーストリア

昭和42年、50歳でヨーロッパを廻った桑珠は、日本とは異なる空の色や光に大きな感動を得ます。そして、さらにメキシコは、桑珠の画家人生に大きなインパクトを与えました。桑珠は色彩や構図のみならず、異文化の生死観に心を揺さぶられます。



雪国と故郷

4

米沢市上杉博物館 展覧会プレスリリース 2017/6/23 8/9



なでら やま
里郷の山 (斜平山)

1987 (昭和 62) 175.5×348.0 六曲一隻 紙本着色
雪の国展 (日本橋高島屋) 取材地: 山形県米沢市

日本にはない景色と文化に大きな感動とインパクトを受けた桑珠は、ひるがえって日本の風土に視点を向け始めます。



蔵王火口

1993 (平成 5)
220.0×170.0
紙本着色
第 25 回改組日展



空と雲

5



さんこけいうん
山湖景雲

2003 (平成 15)
220.0×171.0
紙本着色
第 35 回改組日展



あやぐも
彩雲

2000 (平成 12)
221.0×171.0
紙本着色
第 32 回改組日展

「空」と「雲」は世界各地の風土を自らの足でたどり、生きた証として作品を描いてきた桑珠が晩年たどりついた境地。八十歳を過ぎてなお、豊かで瑞々しい色彩の重なりは必見です。



立ち雲

1999 (平成 11)
220.0×170.5
紙本着色
第 31 回改組日展

■■■ 展覧会基本情報 ■■■

展覧会名称: 企画展 生誕100年 遠藤桑珠
会 期: 6月24日 (土) ~ 7月23日 (日)
休館日: 6/28 (水)
開館時間: 9:00~17:00 (入館は16:30まで)
料 金: 一般200 (160) 円 高大生100 (80) 円 小中生50 (40) 円

★お得な常設展とのセット料金★

一般410 (320) 円 高大生200 (160) 円 小中生250 (200) 円
※ () 内は20名以上の団体料金

■お問い合わせ■ TEL0238-26-8001 FAX0238-26-2660

HP:<http://www.denkoku-no-mori.yonezawa.yamagata.jp>
〒992-0052 山形県米沢市丸の内1-2-1 伝国の杜米沢市上杉博物館
展覧会担当 主任学芸員 遠藤友紀 (えんどうゆき)
展覧会広報担当 学芸主査 花田美穂 (はなだみほ)

●6/24 ~ 7/11 のみ 展示

13 山の池 (青森十二湖)
1973 (昭和 48) 第 5 回改組日展



16 アッシジの丘
1968 (昭和 43)



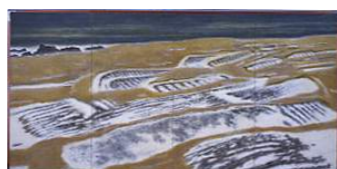
18 チロル風景
1968 (昭和 43)



23 メリダの日
1979 年 (昭和 54) 第 11 回改組日展



29 冬津軽 (五能線)
1987 (昭和 62)



31 雪ン子
1987 (昭和 62)



33 月翔
1985 (昭和 60) 第 17 回改組日展



38 うさぎ (葉書)
39 松 (葉書)
40 しめじ (葉書)
41 柚子 (葉書)

45 春堤 (舟)
1987 (昭和 62)



□7/12 ~ 7/23 のみ 展示

14 白い陽
1976 (昭和 51) 第 8 回改組日展



17 草原驟雨
1968 (昭和 43)



19 ティスナレン湖 (スウェーデン)
1968 (昭和 43)



21 メヒコの女
1977 (昭和 52) 第 9 回改組日展



28 こし路待春 (雪の野、蒲原)
1987 (昭和 62)



32 飛驒晨雪
1987 (昭和 62)



34 雪あかり
1988 年 (昭和 63) 第 20 回改組日展



42 枇杷 (葉書)
43 南天 (短冊)
44 山女魚

46 朝の雪
1987 (昭和 62)

